



推進協だより

1月号

2022年



年頭のご挨拶

光友会事業推進協議会会長 村瀬 道雄

去年今年 時の重さや 一里塚（みちお）

去年も今年も、そしてひょっとして来年もコロナウィルスと戦うことになるかもしれない。わたしたちは、その中で生きて、生きて、生き抜かなければならないのかもしれない。昔の人が一里塚を大切にたどりながら旅を続け、一步一步歩いたように、年月を一步一步生きたように。

わたしたちは、今、何を学んでいるのだろうか。ワクチンの開発に現れる未来の科学技術だろうか。火星にも行こうとしている宇宙技術だろうか。案外、道端の草や花、小動物が教えてくれる生命の営みかもしれない。

生き物は一長一短、長いものは短いものと助け合い、強いものは弱いものと励まし合いつつ生きていく。それがわたしたちの営みの全てではないであろうか。さあ、手をつないでみんなで楽しく生きていきましょう。

花一輪 日に照らされて ともどもに（みちお）

社会福祉法人光友会理事長 五十嵐 紀子

寅年あけましておめでとうございます。

昨年、一昨年とコロナウィルスに振り廻されて過ごした2年間、今年こそは皆様にとって輝かしい良い年であって欲しいと心から願っています。

私も今年は年女です。元気に大いに走り回って一年を過ごしたいと思います。この広々とした郷の地に、関係者全員気持ちを一つに大輪の花を咲かせましょう。

今年一年何卒よろしくお祈りを申し上げますと共に皆様の上に御多幸ある事をお祈りいたします。

三役会を開催しました



参加者：村瀬会長・眞鍋副会長・松井副会長・一杉相談役・森調整役
日 時：2021年12月1日15:00～16:00
場 所：Web (ZOOM)

【議題と決定事項】

今年度の事業計画に沿って、どのような具体的な活動内容にしたらいいかを決めるための会議として開催しました。

議題1 11月24日現在の会費納入状況について

321 会員 1,317,500 円 (2020 年度実績 351 会員 1,520,500 円)

議題2 推進協会員（会費）拡大について何をすべきか（継続案件）

部会ごとに会費の設定が異なることでの不公平感があり、会費の一律化を検討していく。

議題3 推進協だよりの編集委員の公募について

2022年4月から眞鍋さん（現副会長）が引き受けていただけるとのことになった。

マラソンとわたし

村瀬会長

わたしは60才で定年を迎えて、さてどうしようと思いました。そしてマラソンを始めました。それまでマラソンはテレビで見るものと決めていましたので、とにかく出てみることにしました。経験もないのに、やる気になったのは、中学生の頃ちょっと長距離が得意のような気がしていたからです。が、そんな自信は何の助けにもなりませんでした。

最初に出た湘南国際マラソンでは、リタイアロープから逃げるようになんとか走りましたが、ビリもビリでした。本当に苦しいランでした。

このマラソンは、大きな教訓でした。ちょっとぐらいの練習では完走できないということです。それから夏を中心に練習量をだいぶ増やしました。しかも、毎日決まった練習をするようになりました。コロナも減ってよいよマラソン大会も少しずつ元に戻りつつあるようです。ますます練習を頑張るつもりです。

90才のタキミカさんに負けるな



会費納入と新会員加入をお願いいたします

「光友会五つの輪」の考えに基づき、下表のように分類させていただいております。どの部会に所属されているか、ご確認の上、納金していただくようお願いいたします。

所属先	金額	口数	所属先の説明
利用者部会	500円	—	光友会の施設を利用されているご本人
家族部会	6,000円	3口	通所で利用されている方のご家族
家族部会	10,000円	5口	入所されている利用者のご家
職員部会	2,000円	1口	光友会職員
役員部会	6,000円	3口	光友会役員および評議員
市民部会	2,000円	1口	利用者部会、家族部会、職員部会、役員部会以外の光友会事業推進協議会員
法人・会社	10,000円	5口	光友会以外の法人や企業

口座番号：00260-2-49486（赤色郵便振込用紙） 口座名義：光友会事業推進協議会
お問い合わせ：0466-48-1500（担当：森）

編集後記

前号は私の恥ずかしい自己紹介で、紙面を埋めましたが、今号は村瀬会長に、年頭のご挨拶と自己紹介文を依頼しました。すごいですね！私はマラソンは全く無理と思っていますので、尊敬せざるを得ません。画像も力走中（ザトパックのような…知らない人多いよなー。私も写真でしか見たことはありませんが…）の画像を何枚かいただきましたが、うっすらと「コピー及び写真転載禁止」の文字が見えたので、あきらめました。オミクロン株の行方がわかりませんが（本だよりが出る頃も流行っていないことを祈ります）、皆さんもお体に気を付けて、まず、この冬を乗り切りましょう。（N.M.）